

No.36 Ishka Airline Credit Profiles サプリメント

注：本記事は英語にて発行されており、日本語翻訳はあくまで参照です。

読者のご理解の参考までに作成したものであり、あくまで英語版が（正）となります旨、ご了承ください。

また本記事は抜粋となります。フルリポートは英語版をご覧ください。

2020年11月9日週リポート

現在の厳しい市場環境下における航空会社の短期パフォーマンスを、Ishkaの見解として週に一回提供しています。本リポートでは、弊社データサービス・エアラインクレジットリポートの独自のデータポイントを利用し、向こう数週間、強固な信用度を維持していくと思われる航空会社、On-watch 航空会社、コロナショックの打撃に継続的にさらされるとと思われる航空会社を調査しています。

IMPACT INTELLIGENCE 09 - 13 NOV 2020

<ルフトハンザグループ>

ルフトハンザグループのQ3売上高は13億ユーロ（16億ドル）であった。前年同期比で83%の減少。Q2の前年同期比は93%であった。Q2営業損失は15億ユーロ（18億ドル）であり、Q3営業損失は24億ユーロ（29億ドル）に達した。Q3期末時点では、同グループの現金および現金同等物ならびに有価証券は42億ユーロ（50億ドル）となり、昨年12月31日と比較して25%の増加、ルフトハンザの現流動性状況にもかかわらず、ドイツ政府は航空会社が「来年はもっと資金が必要になる可能性がある。」と考える。ロイターおよびシュピーゲルの報道によると、一部の政府当局者は現在のルフトハンザCEOが必要なコスト削減を実行できるとは信じがたいとみている。同航空会社は、追加で6億ユーロ（7億1250万ドル）の資金調達を行った。

<WizzAir>

ヨーロッパの今夏は、国内および一部の地域に恩恵をもたらす路線が存在した。WizzAirの7月から9月の四半期は、同社に3億8040万ユーロ（4億5180万ドル）を生み出した。

当四半期の収益は、前年同期比61%減収となったが、その前の四半期にあたる前年同期比は91%も減少している。同社は1億3920万ユーロ（1億65百万ドル）の営業損失を計上し、第2四半期の1億640万ユーロ（1億2640万ドル）から損失を拡大した。同年9月末に終了する四半期においては、8820万ユーロの純損失計上となった。

<Norwegian>

2020年11月9日、これ以上のサポートは政府にとってもリスクが高いと思われ、ノルウェー政府は、特別な扱いとなる追加の直接支援を Norwegian に対して行わないと発表。同社は即座の運転資金を必要としているが、今回の政府による決定は今後の資金調達において非常に困難な状況となるであろう。同社は破綻のリスクが高いままであり、債権者との合意に達せず、運転資金が調達できない場合、破綻保護の申請を余儀なくせざるを得ない可能性がある。同社は、2020年Q3に、13億クローネ（1億4210万ドル）の収益を報告、これは前年同期比から91%減、また営業損失は28億クローネ（3億1020万ドル）であった。現金および同等物はわずか34億クローネ（3億7500万ドル）である。

<当りポートで使われている Ishka クレジットリポートについて>

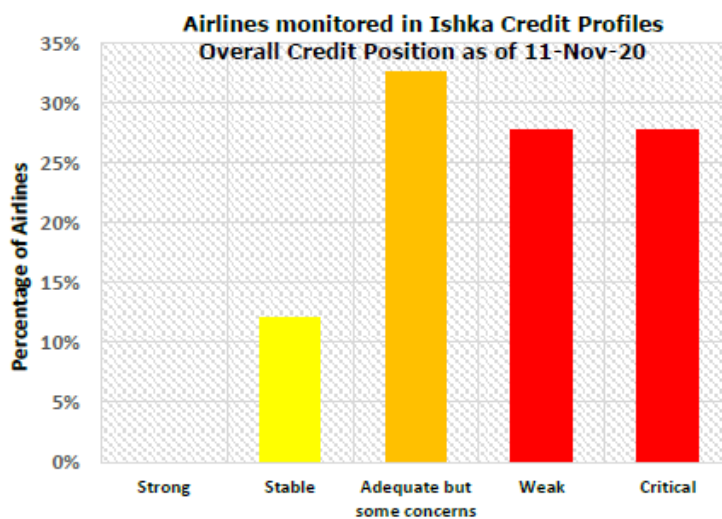
Ishka クレジットリポートは現在128社をカバー。

以下のスコアは Ishka エアラインクレジットリポートより抜粋されている。

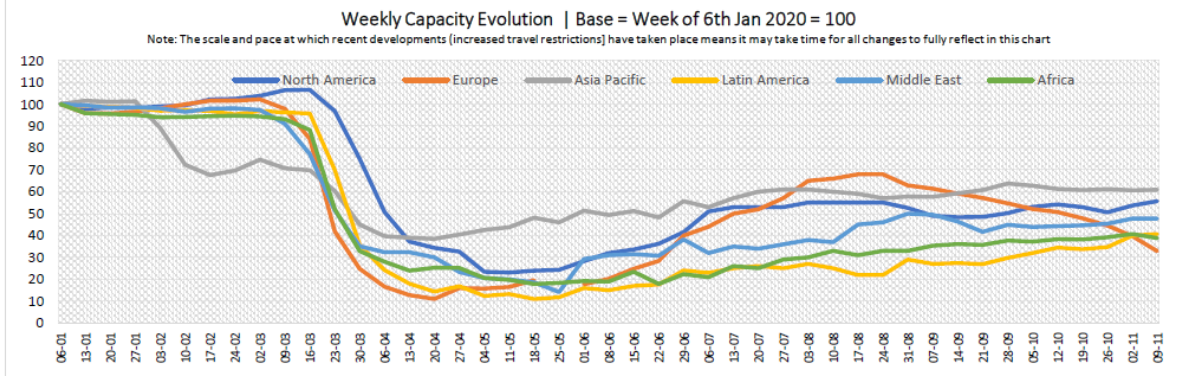
Ishka 分析リポートでは、現在航空会社に対する政府支援の救済額および今後の予定をカバーする一覧表の取得が可能。11月12日発行の最新版は以下のサイトから。

<https://www.ishkaglobal.com/News/Article/6317/Covid-19-bailouts-Cathay-and-Lufthansa-ready-for-winter-new-support-slows-down>

ACP TRAFFIC LIGHT AND SCORE SUMMARY



CAPACITY SITUATION - THE WEEK OF 9th November 2020



世界の座席供給量は今週も減少傾向が続いた。世界の航空会社トータルで、約 97 万席が削減された。主にヨーロッパとアフリカによる削減であった。現在、多くのヨーロッパ諸国が封鎖されており、この地域の供給量は 160 万座席減少し、週ベースで 3%減となる。対照的に北米の航空会社は約 47 万 7 千座席を追加し、1.1%の成長率であった。アジア太平洋地域は 0.1%増で横ばいとなった。

ヨーロッパの航空会社は、特に封鎖の打撃を受け、英国（マイナス 50 万座席、前週比－8%）、フランス（マイナス 241 千座席、前週比－7.1%）、ドイツ（マイナス 13 万 4 千座席、前週比－3%）が多大な影響を受けた。最も大きい影響は、EasyJet と BA が引き続き下方修正し、今週はそれぞれ 192,000 席（前週比－5%）と 178,000（前週比－13.9%）となった。ドイツでは LH が 115,000 席削減し、前週比供給量の 5.7%減となった。

アジア太平洋地域では、今週の総供給量は 0.1%増で、ほぼ横ばいであった。中国が約 5 万席を削減し、中国南方航空が 2 万 6 千席（－0.2%）の削減、中国国際空港が 1 万 2 千席（－0.2%）の削減であった。一方で、インドとインドネシアの航空会社は供給量を増加させ、GoAir は約 37,000（＋6.6%）の座席を追加し、LionAir は 46,000 席を追加、2.3%増となった。

北米の航空会社は地域比では最も増加し、デルタは 43 万座席（前週比 4.3%）を追加、アメリカンとサウスウエストはそれぞれ 48,000 席と 33,000 席を追加した。合計乗客数は若干減少し先週より 1%の低下となった。

ラテンアメリカの航空会社も供給量を追加した。特にメキシコでは、4万3千席（前週比1.1%）追加された。今週の回復は主に Voraris が牽引し、3万8千座席（前週比2.3%）を追加した。

AIRLINES IN THE FIRING LINE

トルコ航空は、2020年Q3の収益が前年同期比42%の減少（110億トルコリラ（12億ドル））となった。一方、2020年Q2の収益は、前年同期比67%減少であったことから、Q3での回復基調を強調するも、同社は赤字を続けており、2020年Q3の営業損失は7億2300万トルコリラ（84.3ドル）、純損失は9億4600万トルコリラ（110.3百万ドル）であった。THYはこれまでトルコ政府から明確な財政的支援を受けておらず、10月のロイターによると、Turkey Wealth Fund（TVF）が、THYに緊急資金を提供するため交渉中であると報告している。また同社は、9月の四半期報告書で、「厳しい環境下から生じる影響を軽減するためのオプション案について政府当局と継続的に連絡を取り合っており、この点で、トルコ財務省は、新型コロナウイルスがトルコ経済に与える影響を防ぐための経済パッケージを徐々に導入し、これには、グループや企業向けへの対策が含まれている。」と記載。THYは49%がトルコ政府によって所有されており、政府にとって戦略的資産であり、またトルコにおける重要な観光セクターをサポートせねばならない政府が出資者であることを考慮する。

<流動性資金と政府支援の更新>

ベトナム航空は、ベトナムの Vietnam's State Capital Investment Corp (SCIC) から、資金支援を受ける予定である。SCICは資金を新株発行 VND6.8 t r（2億9,340万ドル）で行う予定。投資決定は、ベトナム政府の承認が必要となる。

アメリカン航空は、3850万株の増資を実施すると発表。11月10日の終値12.4ドルに基づく調達額は、4億7,740万ドルとなる。同社は発行締め切り日を11月12日としている。

その他：

10 日間にわたるデジタルイベント Ishka ワールドツアーが 10 月 12 日から 10 月 23 日まで開催されましたが、参加者様とスポンサー様は引き続きすべてのコンテンツをオンデマンドで視聴可能です。また参加者同士、ネットワーキングができるオーダーメイドのプラットフォームとなりますので、存分に機能をお楽しみください。詳細は当社のウェブサイトにて。

<https://www.ishkaglobal.com/Events>

こちらのエアラインクレジットレポート以外に、毎週、機材価格のレポートも提供しています。受け取り希望の方は、お手数ですが、弊社までご連絡ください。

問い合わせ先 Ishka 東京オフィス

Phone: +81(0)3 6205 3086

Mobile: +81(0)70 2823 3739

Noriko@ishkaglobal.com